

# 事業評価シート（平成27年度分）

## 1. 事業の位置付け

事務事業名	商店等魅力アップ推進事業		
事業担当	産業振興部 商業観光課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'04	基本目標4 活力とにぎわいに満ちたまち	
	'01	①〈持続可能〉産業の発展を持続させる	
	'02	2 産業の経営基盤を強化する	
根拠法令等			
対象・受益者	事業者	事業期間	
委託・協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 平塚商工会議所、商店街連合会】		
	目的・目標		事業の概要
事業者の経営強化や魅力ある個店づくりがされています。		事業者の経営強化のためのセミナー等を開催します。また、個店の魅力づくりのための活動を支援します。	

## 2. 事業の検証

活動指標①	指標名	商業経営セミナー等開催回数			単位	回
	説明・算定式	商業経営セミナー:1回、平塚逸品研究会:10回、アドバイザー派遣:8回 他				
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	実績	24	29	24		
活動指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	実績					
成果指標①	指標名	商業経営セミナー等参加者数			単位	人
	説明・算定式	商業経営セミナー:延べ25人、平塚逸品研究会:延べ250人 他				
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	実績	614	525	647		
成果指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	実績					
進捗状況	①：予定どおり					
	遅れている理由					
平成27年度の主な取組と成果						
伝統的な技術や独自のサービスがある店舗を「匠の店」として認定しました。また、専門知識や経験を有するアドバイザー派遣や自店のお勧め品を打ち出す「平塚逸品研究会」の取組みの促進により、個店における販売促進や経営に関する支援を行いました。また、商工会議所等とともに商業経営セミナーや店舗コンクールを開催しました。						
平成27年度の検証結果	A：成果があがった					

項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価	
事業分析	必要性	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	商店数が減少する中、市民の買物環境を改善するために、消費者のニーズに合った魅力ある店舗づくりは、にぎわいのあるまちづくりの一環として、市が継続的に支援していく必要があります。	● 高 ○ 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	個店の魅力化の推進や、ホームページ等による情報発信により、市民への満足度が高まることから、今後も事業を継続することは有効です。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input checked="" type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	店舗の個性化・魅力化は、市民の買物環境の改善に繋がるもので、事業者(受益者)が主体的に取組み、市は経営支援や情報発信等による側面支援であるため、事業の実施は妥当です。	○ 高 ● 中 ○ 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	個店の魅力化等をさらに促進させるため、平塚商工会議所、平塚市商店街連合会と連携し、事業内容を検討する必要があります。	○ 高 ● 中 ○ 低
<b>今後に向けた課題の分析</b> 「匠の店」など、個店の魅力をより高めるため、商品以外の価値を提供できる店舗づくりを進める必要があります。				

## 3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成25年度 決算額	平成26年度 決算額	平成27年度 決算額
事業内容		経営セミナー、店舗の表彰・情報提供、逸品研究会、アドバイザー派遣	経営セミナー、店舗の表彰・情報提供、逸品研究会、アドバイザー派遣	経営セミナー、店舗の表彰・情報提供、逸品研究会、アドバイザー派遣
財源内訳	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	起債	0	0	0
	その他 特財	0	0	0
	一般財源	1,122	1,358	1,355
事業費 (A)		1,122	1,358	1,355
執行率 (%)		98.33	90.59	81.63

## 4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

<b>平成29年度の取組方針</b> 個店の経営支援等を行うアドバイザーを派遣するとともに、消費者ニーズに対応し、個店の経営合理化を促進するセミナー等を開催します。また、「匠の店」等を活用した「まちゼミ」や「まち歩き」の開催など、商品だけでなく専門的な知識や体験等の価値も提供できる店舗づくりを取組みます。
<b>課長コメント</b> 商業の活性化のためには、個々の店舗が魅力や特長を持つことが重要と考えており、継続的に個店の魅力を向上させる事業を中心に実施します。